



こぐまぐみだより

2022年度3月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ベアーズ

冷たい風が吹く中にも少しずつ春の気配が感じられるようになりました。早いものでこぐま組での生活も残り1か月。「できないよ!」と泣いていた子どもたちも、1人で身の回りのことができるようになったり、お友だちとの関わりが増えたり、立派なお兄さんお姉さんになりました。保護者の皆様ともかわいい子どもたちの成長を一緒に見守ることができたこと、本当に嬉しく思い感謝の気持ちでいっぱいです。大好きなこぐま組が終わってしまうのは寂しいですが、残り少ない時間を元気に楽しく過ごしていきたいと思っています。

～1年間、ありがとうございました!～



～ひなまつり制作～

ひなまつり制作でおだいりさまとおひなさまを作りました。見本を見せると子どもたちは興味津々で「ぼくもつくりたい」「わたしもつくりたい」と意欲的です。半分の紙皿を土台にして、おだいりさまとおひなさまの顔をペンで描きました。千代紙の着物、笏と扇(手に持っているもの)えいとさいし(頭に被っているもの)をのり付けして貼りました。以前よりも上手に貼る姿が見られました。子どもたちの個性が出てかわいい作品が出来上がりました。

♪是非おうちでも飾ってみてください♪

～「おうちはね〇〇だよ」～

こぐま組の子どもたちの中で、家の近くの建物や場所の様子がよく話題になっています。「ぼくのいえは〇〇と〇〇がみえるよ」「ずっとむこうのほうにおうちがあるよ」「〇〇ちゃんはね、あっちのほうだよ」など楽しく話しています。「こんどおうちにあそびにきてもいいよ」「ママとパパにいておくね」など子どもたちの中で楽しく会話を繰り広げています。

「せんせいのおうちはなにいろ?」と子どもたちに聞かれて「ちゃいろかな」と答えると「そうなんだ」と感心していました。



<お願い>

子どもたちは進級に向け幼児クラスでの活動に興味を持ちはじめています。反面、今後の環境の変化を敏感に感じ取り、甘えが強くなることもあるかもしれません。クラス移行時に見られる成長の過程ですので、あたたかい気持ちで受け止めていただけたらと思います。また、幼児クラスでは今まで以上にさまざまな活動があります。安全な環境の中で活動をゆったりと楽しめるよう、活動のしやすい服装、運動靴の大きさの再確認をお願いいたします。女の子に限りませんが、怪我につながりやすいのでワンピースの着用や飾り付きのゴムを付けての登園はご控えください。ご理解とご協力をお願いいたします。